

# 経済・金融フラッシュ

No.07-032 2007/06/21

## 貿易統計 07年5月～米国向け輸出の落ち込みをEU、アジア向けがカバー

ニッセイ基礎研究所 経済調査部門 シニアエコノミスト 斎藤 太郎

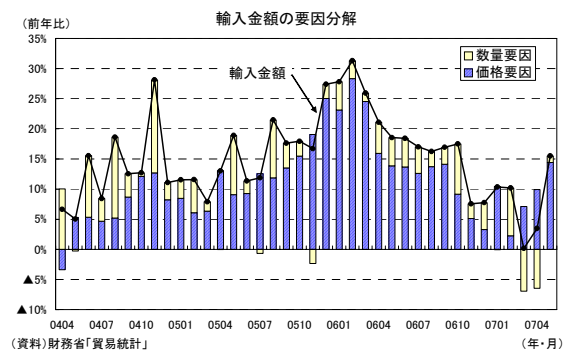
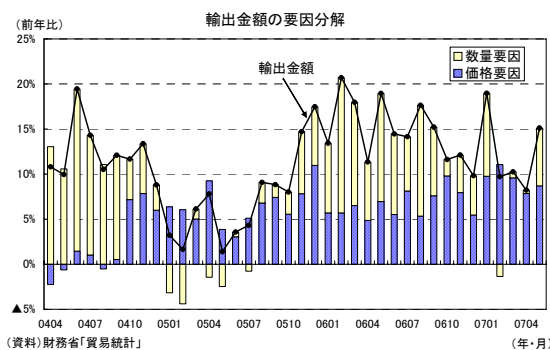
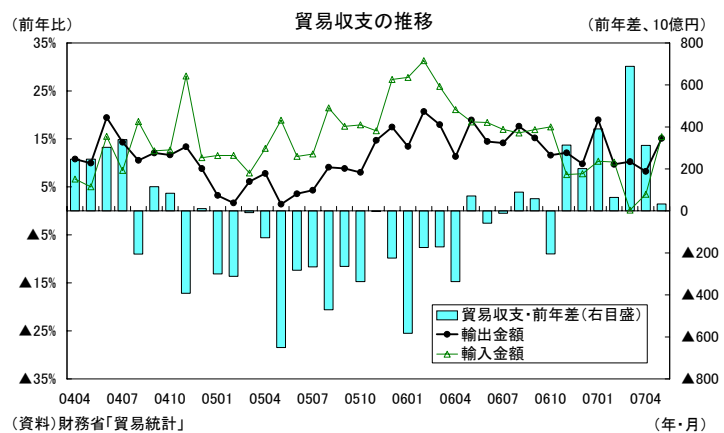
TEL:03-3512-1836 E-mail:tsaito@nli-research.co.jp

### 1. 貿易収支は7ヵ月連続で改善

財務省が6月21日に公表した貿易統計によると、5月の貿易黒字は3,895億円（前年比9.3%）となり、市場予想（ロイター集計：4,485億円、当社予想は3,997億円）を若干下回った。貿易収支は7ヵ月連続で前年よりも改善したが、改善幅は前月よりも縮小した。

輸出金額は前年比15.1%と2ヵ月ぶりに二桁の伸びとなった（4月：同8.2%）。輸出価格が前年比8.5%（4月：同7.8%）と高い伸びを続ける中、ほぼ横ばいの動きが続いていた輸出数量が前年比6.1%と（4月：同0.4%）と大きく持ち直したためである。

輸入金額は、前年比15.5%と3ヵ月ぶりに二桁の伸びとなった。輸入数量が前年比1.0%と3ヵ月ぶりにプラスに転じ（4月：同▲6.1%）、原材料価格の上昇や円安の進展などから輸入価格が前年比14.3%と前月の10.2%からさらに伸びを高めた。

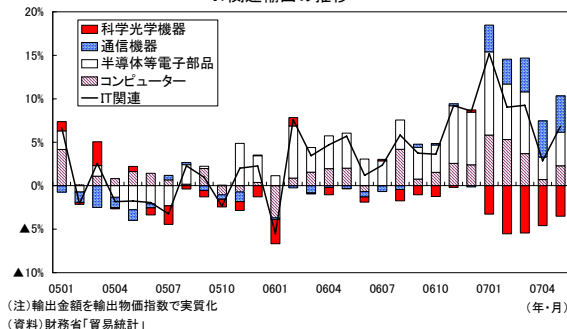


## 2. IT 関連、自動車輸出が持ち直し

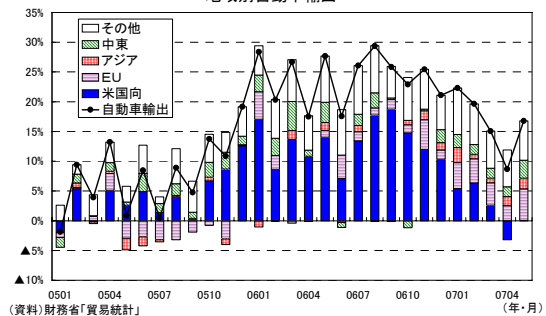
輸出の内訳を見ると、鉄鋼（前年比 31.8%）、非鉄金属（同 32.3%）、一般機械（同 13.7%）などが高い伸びとなった。IT 関連品目では、科学光学機器は前年比▲14.2%と減少したが、コンピューター（同 11.0%）、半導体電子部品（同 14.2%）、通信機（同 114.6%）等が高い伸びとなり、全体では堅調な動きとなった。国内では、電子部品・デバイスの在庫積み上がりが続いているが、IT 関連輸出の回復は在庫調整の進展を後押しする要因となろう。

自動車輸出は前年比 16.8%の増加となり、19 ヶ月ぶりに一桁の伸びにとどまった前月から伸び率は急速に高まった。4 月に 25 ヶ月ぶりに減少に転じた米国向けは前年比 0.2%（4 月：▲7.5%）とほぼ横ばいにとどまったが、EU 向け（前年比 37.6%）、アジア向け（同 23.4%）等が非常に高い伸びとなり、米国向け輸出の低迷をカバーした。

(実質・前年比) IT関連輸出の推移



(前年比) 地域別自動車輸出



## 3. 米国経済減速の影響は継続

輸出数量は前年比 6.1%と 4 月の同 0.4%から伸びが大きく高まった。米国向けは前年比▲13.2%（4 月：同▲13.1%）と大幅な落ち込みが続いたが、欧州経済の好調やユーロ高を反映し、EU 向けが前年比 8.7%（4 月：同 6.6%）と高い伸びを維持し、アジア向けも前年比 12.0%（4 月：同 7.0%）と伸びを高めたため、米国向けの落ち込みをカバーする形となった。

米国経済は 1-3 月期に前期比年率 0.6%の低成長となった後、4-6 月期には持ち直しの動きが見られる。しかし、日本から米国向けの輸出は依然低調であり、米国経済減速の影響は継続しているものと判断される。

日本の 1-3 月期の成長率を大きく押し上げた輸出は、米国向けの低迷を主因として 4-6 月期には伸びが低下するだろう。しかし、米国向け以外の輸出が好調を維持していることから、大幅な減速は避けられる可能性が高い。